

(6) 文化・スポーツ施設等の整備について

想定課題

国会等の移転に伴う人口増加等に対応し、文化施設やスポーツ施設等をどのように整備すべきか。

対応方向

国会等移転審議会答申においては、「北東地域」に移転した場合の文化的特徴について「豊かな自然を背景に、環境と共生する都市像や生活様式が展開する、新しい時代の清新な国土づくりを内外に印象づけるものとなる。」としており、答申に当たっての総合評価においても、我が国の文化形成に与える影響は、「栃木・福島地域」が最高の評価を受けています。

「栃木・福島地域」には、豊かな自然環境の中でのゆとりのある生活といった新しい文化創造の条件があると審議会からも認められたわけであり、こういった素地を生かして、移転により、これまで培ってきた県内の誇るべき文化と融合した新しい文化が創造できるものと考えます。

一方、国会等の移転に伴う人口増加に対応するとともに、地域住民が生涯にわたり文化的・健康的で活力に満ちた豊かな人生を送ることができるためには、文化・スポーツ施設等を整備し、文化・スポーツ活動の充実に努めていく必要があります。

このため、新都市の建設スケジュール等を考慮し、長期的な観点に立って、地域住民や新都市の多様なニーズを踏まえながら、これからの時代にふさわしい多様な文化・スポーツの振興・交流を図るため、既存の文化資源を生かしながら環境整備を進めていく必要があるものと思われま

さらに、移転によって、新都市を中心に展開される新しいライフスタイルに適合したこれからの時代にふさわしい多様な文化・スポーツ施設などの整備が、県内全域で進んでいくものと考えま